

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、永らく愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書の内容は予告なく更新させていただくことがあります。最新版はWEB版をご参照ください。

取扱説明書

Scorpion MD

300XG

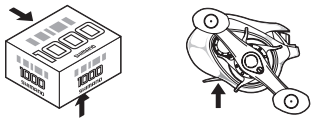
301XG

300XGLH

301XGLH

サービスのご案内

- 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証いたしかねます。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理はお断りさせていただきます。
- 不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。
- 修理に出されるときは、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。その際には必ず、不具合が生じたそのままの状態で販売店へお持ちいただき、修理箇所、不具合内容を具体的に（例 / ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、ダイレクト修理サービス（https://www.shimanofishingservice.jp/repair/direct_guide.php）をご利用ください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください、製品名・商品コード・部品番号・部品名・パート No. をご指定のうえ、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例 / 製品名：ステラ C2000S 商品コード：043832 部品番号 131 部品名：スプール組 パート No.10TH0）ご自身で分解される場合の、分解、組立方法は弊社ではご案内致しかねます。
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード / 製品コードの位置
パッケージ底面部もしくは側面部に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
0120-861130（ハローイサオ）【通話料無料】をご利用ください。
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土、日、祝日、弊社休業日を除く）
■シマノホームページは www.shimano.com です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

株式会社シマノ釣具事業部
本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

● 回転しているスプールには触れないでください。 けがをするおそれがあります。

● 幼児の手の届くところには置かないでください。

● 汚さないように注意してください。

● リールの回転部にはグリスや油が付いていないで、服を

● リールを釣り以外の目的で使用しないでください。

● ください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。

● キャスティングの時にはクランチを切るのを忘れないで、注意してください。

● げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分注意してください。

● リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投

● ないように引き寄せて切ってください。

● タオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残ら

● 根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手

● トラルの原因となります。

● リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないよう

● いてください。けがをするおそれがあります。

● リ素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れな

● ムキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等によ

● るで指を切るおそれがあります。

● 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。

● 糸をリードするレベルウインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をさされけがをするおそれがあります。

● ハンドルとボタンの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。

● 糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。

安全上・ご使用上の注意

ご使用前に必ずお読みください。

各部の名称

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

仕様一覧

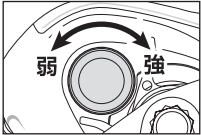
品番	ギア比	最大ドラッグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量 PE (号-m)	糸巻量 ナイロン (lb-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル 1回転)	ハンドル長 (mm)	ベアリング数 (ボール/ローラー)
300XG	7.6	8.0	325	4-180 5-140 6-120	16-210 20-160 25-135	103	45	7 / 1
300XGLH	7.6	8.0	325	4-180 5-140 6-120	16-210 20-160 25-135	103	51	7 / 1
301XG	7.6	8.0	325	4-180 5-140 6-120	16-210 20-160 25-135	103	45	7 / 1
301XGLH	7.6	8.0	325	4-180 5-140 6-120	16-210 20-160 25-135	103	51	7 / 1

※製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

使用方法・リールの準備 ※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

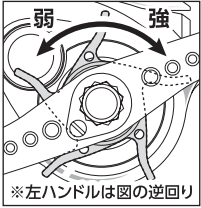
■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。一般的な調整方法として、スプールの左右のがたつきがなくなるところから、少しだけメカニカルブレーキを緩めた状態でお使いください。緩めすぎも、締めすぎもリール本来の性能を阻害する場合があります。風の強い時のキャスティング、スキッピングなど特定の状況においては適度にメカニカルブレーキを締めた方がキャスティングしやすくなります。



■スタードラグ

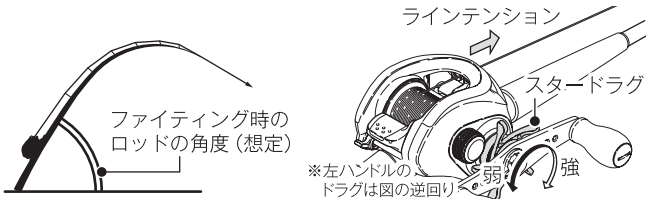
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。



■ドラグの調整方法

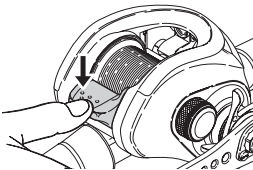
ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



■クラッチ操作方法

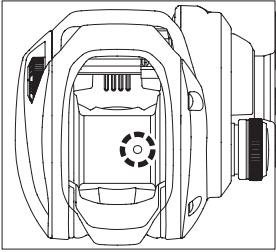
親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



■スプールへの糸止め方法

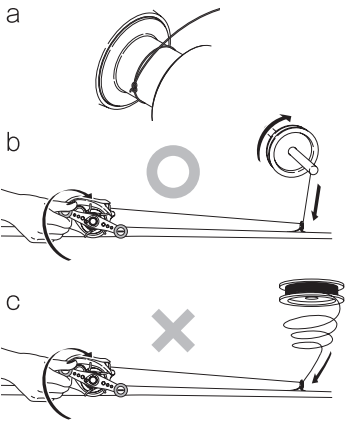
スプールに糸を巻きつけて締めこんでください。結びこぶをスプールの凹みに入れ込んでください。

※テープを貼り付けて固定しても大きな不具合にはなりません、回転性能を最大限に引き出すために推奨いたしません。



■糸の巻き方

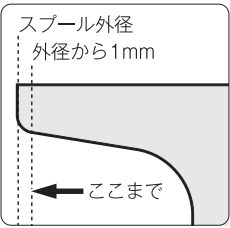
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図 a)
4. 糸が巻かれているボビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのボビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ボビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図 b) 図 c のようなにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

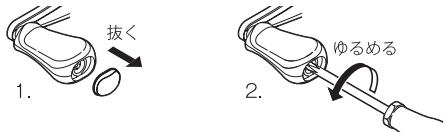
糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。



■ハンドルノブの取り外し方

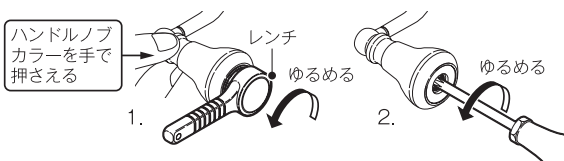
300XG、301XG

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



300XGLH、301XGLH

1. ハンドルノブカラーを手で押さえながら、付属のハンドルノブレンチを使い、ハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



■サイドプレートの脱着方法

図のように本体Bカムレバーを上向き中央まで上げることで本体B組を本体から外すことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが水平の位置にあり、ロックされている状態にしてください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

①本体Bカムレバーを上向き中央まで上げますと本体B組が取り外せます。

※本体B組のガタツキをおさえるためフリクションがかかる構造になっていますので、取り外しが少し重いものもあります。

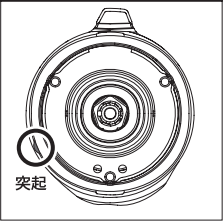
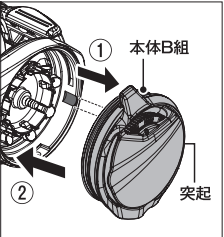
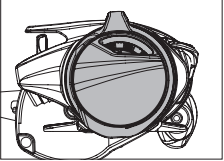
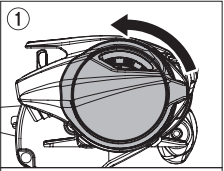
※本体B組を外した状態で、開口部を下に向けますと、スプールが脱落し、変形する恐れがありますので、ご注意ください。

※メカニカルブレーキを締めた状態で本体B組を開けると、スプールが本体B組側に寄せられているため、構造上本体B組が閉じられなくなります。本体B組組を閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。

※本体B組は本体から切り離されますので、落下による破損や紛失にご注意願います。

②閉じる際は逆の手順で、本体Bカムレバーが上向き中央の位置にあり、図の突起がフレームの溝にはまるように本体にしっかり奥まで押し込んでから、本体Bカムレバーを水平の位置まで下げてください。

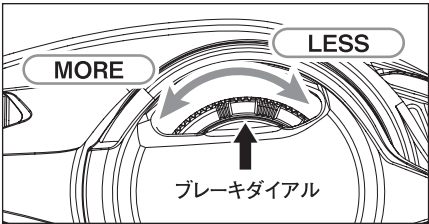
※本体B組を本体から外した状態で本体Bカムレバーは回さないようご注意ください。回した場合、内側図のように本体Bカムレバーの突起位置を直してから本体に組み込んでください。



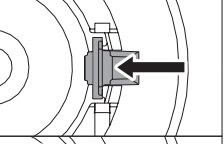
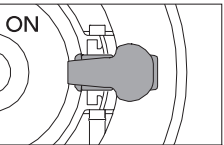
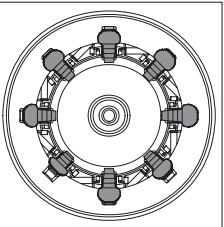
■ブレーキ調整方法

スプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側についたブレーキダイヤルでブレーキ力を調整します。スプールに搭載された8個のブレーキシューを図の要領で、ON / OFF 切り替えることで基本的なブレーキ調整ができます。

ON にするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力は強くなります。次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。



このモデルのブレーキシューの取替えは圧入処理が必要なため修理対応となっております。修理費用は下記シマノ カスタマーセンターのサポートサイトをご覧ください。
<https://www.shimanofishingservice.jp/support.php>



■キャスティング方法

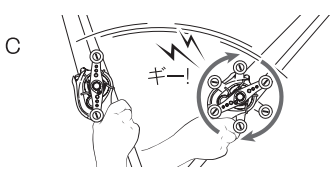
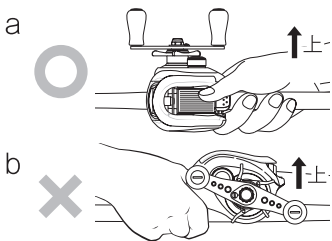
●正しい握り方

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。(図 a)

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

ハンドルを横向きにしてしまうと…(図 b)

キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。(図 c)



※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギヤの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。
※キャスティング中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。
※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

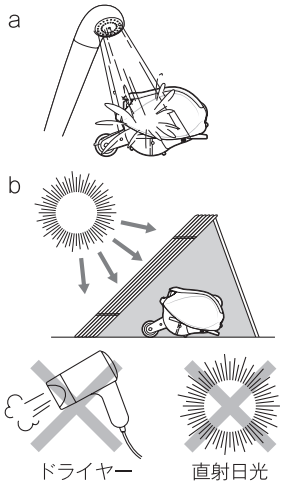
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。(図 a)

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。(図 b) ※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。 ※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット） SP-013A（オイルスプレー） SP-023A（グリススプレー） SP-015L（ザルスリールオイルスプレー） ※最寄りの販売店にてお買い求めください。

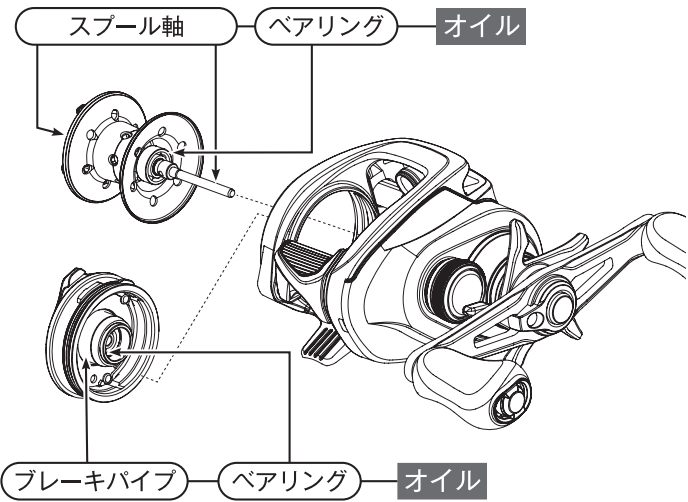
《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウェスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

シマノ以外のオイルは使用しないでください。オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

Scorpion MD
300XG
301XG
300XGLH
301XGLH